

# 九州ネット



～長崎ちゃんぽんラウンド～

## 長崎県長崎市開催 R1.9.14 (Sat) 於：長崎県庁

九州ネットワーク研究会「長崎ちゃんぽんラウンド」は、長崎県庁舎3階において開催されました。参加者は13名（県内10名、県外3名）で、以下の内容で体育・保健体育に関する研修を深めました。



### トピックス (情報提供)

桐蔭横浜大学 佐藤 豊 教授

これからの体育・保健体育の方向性についてのお話や、大学における取組、部活動改革プランにおける、産学官が連携したICT活用による遠隔地部活動支援プロジェクト、シンガポールにおける「体育専科」の取組等々、多岐にわたり興味深いお話をいただきました。また、本ネットワークの各会場で実施されるワークショップの研修効果のお話の中にあつた、「知識構造化ワークショップ」については、取組は難しいが、理解が深まり、自己のスキルアップにつながるなど結果が出ていて、県内の職員対象研修会等でも大いに取り組んでいこうと感じました。



### 取組事例発表

#### 【長崎市体育部会】

「運動が苦手な子供も楽しめる、体育授業プログラム」の作成について

①学習指導要領に記載されている指導事項の確実な指導、②体育授業のよりどころ、③誰もが見てわかる資料の3点を作成の目的とし、若手の先生や体育授業が苦手な先生方に活用してもらうよう、全領域・全単元・全時間分の授業展開例を作成している取組を紹介いただきました。作成しながら見えてきた課題（知識の指導と評価・例示の取扱い方等）について、参加者に解決策等のアイデアを話し合っていました。

### 「授業プログラム作成」の課題をみんなで考えよう！



飛び入り参加で、福岡教育大学 准教授 本多壮太郎 先生からも情報提供していただき、長崎市体育部会の今後の作成に役立つ、多くのアイデアを提案していただきました。

まず、「初任者、苦手な先生方対象、具体的、活用可能性、A4両面1枚で授業可能」などのコンセプトを確認し、A41枚に、授業者が欲しい情報は？授業のねらいは？具体的動きは？など多くのアイデアを協議していただきました。知識・技能の評価の読み取りに議論が移ると、ロスタイム30分過ぎに終了のホイッスルが鳴り、懇親会会場で有意義な延長戦が行われました。

(文責 佐藤昇)